

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立西条農業高等学校

学校番号 (10)

評価実施日		令和3年2月15日(月)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	徳増 賢一	西条農業高等学校前 PTA 会長	
	内田賢一郎	西条市立西条南中学校教頭、学校評議員	
	永井 克征	西条市青少年育成センター所長、学校評議員	
	宇佐 幸子	株式会社ミラズウサ代表取締役、学校評議員	
	梶本 環	西条市大町公民館長、学校評議員	
	越智 基博	西条市氷見交友会館長、学校評議員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p>今年度の最終評価について</p> <p>1 教育方針・重点努力目標</p> <p>農業教育を通して、専門的な学びを身に付けさせるだけでなく、地域へ出向いての様々なイベント(黒茶、コケ玉づくり、高校生レストラン、人権の花運動等)や、小中学校との交流・出前授業などを意欲的・精力的に行うなど、将来地域に貢献する人材の育成に努めており、地域において貴重な役割を果たしている。今後とも、豊かな心を育成し、社会に貢献できる人材の育成に一層の工夫をもって取り組んでほしい。</p> <p>2 学習指導</p> <p>考査中2時間以上(平日1時間以上)の家庭学習時間の数値目標を掲げているが、残念ながら達成できていない。進路実現に向けた意識付けを早い段階から行うなど、学習習慣を付けさせてほしい。また、課題の出題に工夫を図るなど、努力していただきたい。生徒の授業態度は落ち着きがあり、教師も丁寧な指導に努めるなど、分かる授業の実践に力を入れている様子が見えてくる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校としての特色を生かした体験的な学びを通して、専門的な知識や技能の習得、また資格取得に努めながら、将来農業をはじめ様々な分野で活躍する人材を育成したい。そのための自覚をしっかりとって、教育活動に邁進していく考えである。また、教育方針や生徒たちの取組・活躍の様子をHPや各種メディアを利用して、生徒や保護者はもちろん、地域の方々に発信し、本校への理解が一層深まるような努力を継続したい。 ・日々の授業や実習の中で自分のアピールできる分野を見つけ、伸ばさせるなど、進路実現に向けた意識付けを1年生の早い段階から行いたい。また、多様な生徒への配慮に努めるとともに個別指導の充実など、一人一人を見つめたきめ細やかな教育をさらに進めていきたい。1人1台端末配付を見据えて、効果的な活用方法を研究していきたい。 	

3 進路指導

就職・進学希望者全員が希望する企業や大学等に内定(決定)しているところが大変素晴らしい。次代を担う人材を輩出・定着させ、地域に貢献させることを目標に掲げている。さらに資格取得や検定などに挑戦させ、進路実現につなげてほしい。

農業という産業の基盤の上に第二次産業、第三次産業を見据えた六次産業の将来像をしっかりと教育してほしい。

4 生徒指導

身だしなみやあいさつなど、素直な生徒が多いように思われる。また、様々なイベントにおいても笑顔での対応に好感が持てる。生徒と先生方の良好な人間関係が構築されており学校生活の充実がみられる。

5 農業教育

各種コンテストへの応募や地域との連携活動など、地域と一体となった教育活動が展開されている。今後も様々な行事や各種コンテストでの入賞を目指すなど、生徒にやりがいを見つけさせるとともに自信をつけさせていきたい。

・進学については、将来地域における農業の六次産業化に貢献できる担い手の育成に力を入れていきたい。就職についても、生徒たちの適性等について、自己理解を図らせるとともに、地域の次代を担う人材の育成という観点からの指導に、今以上に力を入れていきたい。

・全体的に身だしなみ等、良好である。問題行動の未然防止に向けては引き続き、様々な場面を活用して規範意識の向上につながるような指導に努めていきたい。特に行動する前にその行動がどういう意味を持つのかをしっかりと考える習慣を身に付けることに力をいれている。人間関係の構築については、生徒会などを中心にあいさつ運動を継続し、教員からの積極的な声掛けを行うなど、今後とも、更なる良好な関係の構築に努めたい。

・今年度は計画していた多くの地域との連携行事や交流活動がコロナ禍の中で中止になったが、来年度以降も地域との連携行事への積極的な参加をすすめ、西条市の次代を担う人材の育成という観点から、生徒たちの自主的活動を推進し、コミュニケーション能力やリーダーとしての資質向上に力を入れていきたい。